

支えあって ふれ合って…

# 絆の杜

社会福祉法人 光道園



No.49 2017, December

## 福祉法人 光道園 創立60周年記念式典



表紙

創立60周年を迎えて ..... 2.3

鯖江創立記念模擬店 ..... 4

朝日創立記念模擬店 ..... 5

季節のフォトギャラリー ..... 6.7

たねのいえ初めてのハロウィン・パレード ..... 8

絶賛放送中♪CMの裏側全部見せちゃいます ..... 9

未知から既知へ～福祉機器の可能性に触れる～ ..... 10

いざ全国大会へ～光道園野球部ベネセーレ～ ..... 11

陶華星・フクレール広告 ..... 12

# 創立60周年を迎えて（ご挨拶）

理事長 藤本 武司



平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

お陰様をもちまして、光道園は、今年で創立60周年を迎えることができました。

創立した昭和三十二年の日本は、戦後の復興から高度成長期にさしかかりつつあり、いまだ施設への措置制度などは整っていない状況でありましたが、創設者の中道益平氏は、わずかばかりの私財と愛の鉛筆運動で得た収益金をもとに、福井市文京に土地と払い下げの建物を確保し、二十名の身体障害者と五名の職員で身体障害者更生施設「光道園」を開設いたしました。以後、身体障害者

福祉に対する情熱はとどまることなく、昭和四十一年、鯖江市に視力障害と他の障害を併せ持つ、重度身体障害者授産施設「ライトセンター」を民間施設としては全国ではじめて設立いたしました。昭和四十八年には、越前町（旧朝日町）で老人施設を開設し、今日の光道園の施設体制の基本が構築されたのであります。

更に、自ら「野望」と表現した旨重複障害者を中心とする福祉工場の建設をめざしましたが、昭和五十三年五月、「身体障害者の父」と多くの人々に慕われながら、その生涯を閉じることとなりました。中道益平氏亡き後は、役職員一丸となってその遺志を引き継ぎ、障害者福祉と老人福祉の充実・向上に努めながら、今日に至っております。また、施設福祉と在宅福祉は「車の両輪」を合言葉に、地域福祉の拠点として、障害

者部門では短期入所、グループホーム、通所就労支援、放課後等デイサービス、相談支援、更に老人部門では短期入所、デイサービス、訪問介護、在宅介護支援センター、居宅介護など、幅広く在宅支援事業を展開してまいりました。平成二十六年には、働く職員の育児と仕事の両立をはかる目的で、事業所内保育施設を創設し、昨今の深刻な問題であります人材確保の一助となっております。その結果、今日では、施設入所定員五百六十名、在宅サービス利用定員九十六名、職員総数は三百八十名余の規模で事業を展開するに至りました。

この間、福井県ご当局、鯖江市、越前町そして地域の皆様方の格別なご理解とご指導ご支援を賜り、健全な運営ができたことに衷心より感謝申し上げます。これからのわが国は、超高齢化と人口減少のピッチがますます速まり、誰もが経験したことのない、これまでとは異質の社会を迎えようとしております。五年先のあり様が、容易に予測のつけられない激動の時代にあり

ますが、このような時こそ、初心に立ち返り、足元をしっかりと固め、着実に、誠実に、その時々課題に立ち向かう姿勢が、肝心と確信するものであります。

中道氏をはじめ多くの先輩諸氏が築き上げられた、六十年に亘る歴史と伝統の重みをしっかりと受け止め、これからも障害者福祉と高齢者福祉、地域福祉の充実向上に尽力してまいる覚悟であります。

そして、新たにはじまる歩みが、更なる発展を遂げられますよう、役員一致協力して邁進いたします所存でございますので、関係各位におかれましては、今後いっそうのご指導ご支援を賜りますようしくお願い申し上げます。

今回は、六十年を一緒に歩んできたご利用者、役員をはじめ関係者方々になるべく多く参加していただきたいというコンセプトのもと、創立60周年記念の各種事業を企画実施しましたので、以下、ご報告させていただきます。

# 創立60周年記念の各種事業

## (1) 書籍発刊

### ①『愛汗一路』

内 容：周年記念に恒例で発刊される記念誌で、沿革、事業概況、中道氏を偲ぶ利用者対談特集などが掲載されています。

### ②『施設で生きる』

内 容：試行錯誤しながら利用者とならぶ足跡を、毎年、「生活支援事例報告書」として作成し、長年綴り溜めてきました。この中から近年の事例を抜粋し、利用者の望みをくみ取り、実践する中で職員自身が成長していく姿を、関係する大学の先生等のコメントを交えて一冊の本にしました。



## (2) 人文字（ドローン空撮）

日 時：平成二十九年五月十七日

内 容：皆で六十周年を祝い・感謝の気持ちを伝える最初のイベントとして、参加者各々が両手に紅白布を持って「祝60」を表し、ドローンによる空撮を行いました。

## (3) 記念広告掲載

掲載日：平成二十九年九月十八日

内 容：感謝の気持ちと新たな決意を関係各位をはじめ地域の皆さまにお伝えするために広告掲載しました。



## (4) 光道園銅像リフレッシュ工事および周辺整備工事

日 時：平成二十九年九月十日

内 容：中道益平先生の銅像は、多くの方々のご理解、ご協力により、昭和五十二年に創立20周年記念事業として建立されました。この間四十一年の風雪により傷んだ銅像を修理修復し、併せて周辺整備を行い、鯖江創立記念模擬店で除幕式を挙行了しました。



## (5) 創立記念式典および利用者発表会

日 時：平成二十九年九月十八日

内 容：第一部の記念式典では、式辞、祝辞、感謝状贈呈、永年勤続表彰が行われ、第二部は、利用者への表彰贈呈、利用者発表会が行われました。当日は、たくさんの職員OBに駆けつけていただき、会場のあちこちから、久しぶりの再会と思い出話に花が咲いておりました。



# 鯖江 創立記念模擬店



## 感謝の気持ちを込めた 和まつり

『地域に根ざして60周年』をテーマに、今年の鯖江創立記念模擬店・和まつりが開催されました。

当日は、天候にも恵まれ、色とりどりのバルーンリリースによる歓声と共に、和まつりがスタートしました。利用者の方のご家族や地域の皆さま、職員の家族を含め、沢山の方々にご参加いただきました。

60周年を記念し、中道初代園長の銅像をリニューアルし、除幕式が理事長、園長、利用者の方とともに行われました。

今年のステージイベントも大盛り上がりです。まずは「朝日蒼天龍神」一筆啓上・古城おじゃれ」によるヨサコイから始まりました。力強いパ



フォーマンズに会場が一気にヒートアップ。そして「FreeMelody」のアカペラ、豊小学校の生徒さんの発表、光道園職員による職員バンド・ダンスステージがありました。どのステージも、暑さを吹き飛ばすほどの熱気に溢れ、会場の皆さんをくぎづけにしました。

毎年和まつりは、普段お世話になっている、地域の方々への『感謝』の気持ちをこめ、皆さんと一緒に楽しめるイベントを考えています。

和まつりにご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。笑顔いっぱいの一日になりました。

今後も利用者の方々、地域の皆さま、職員に幸せを感じていただき、光道園が地域の宝となるよう努力していきたいと思えます。

## 心に響く ドラムを叩きたい！

僕はロックバンドが好きで、良く音楽フェスやライブなどに行き、もしバンドをするなら、『ドラムを叩きたい』と思っていました。

今年の創立記念模擬店で職員バンドのドラムを担当する人を探していると聞き、『こんな機会はない！』と思い、自分にやらせて欲しいとお願いしました。ドラムを担当する事になったのですが、ドラムスティックの握り方も分からず、手と足のリズムが一緒になってしまったり、基本のリズムすら叩けず、本当に本番までに叩けるようになるのか不安でした。しかし、やるからには絶対に二つの曲を叩けるようになってやると

いう一心で、毎日仕事終わりや、休み時間に練習をしました。また時にはスタジオを借り、メンバーで集まり練習する日もありました。一曲弾けるようになった時や、基本のリズムが叩けるようになった時はとても嬉しくて、ずっと同じ曲とリズムばかり叩いていました。

本番は少し間違えたりもしましたが、楽しくドラムを叩くことが出来ました。また、機会があればバンド会のメンバーと一緒に演奏したいなと思います。

文：企画調整室 加藤 麻由

文：療護一課 小林 圭佑



残暑厳しい八月後半。光道園朝日事業所の会議室は重い空気が漂っていました。会議室には、今年の模擬店準備委員の面々が、それぞれに頭をひねりながら、新たな模擬店コーナーやイベントを検討していました。そして今年、模擬店コーナーにて、新たに登場したベビーカーステラ。ベビーカーステラ誕生から当日の大盛況の舞台裏には担当栄養士達の苦悩がありました。担当栄養士が、こ

の経験を通じて感じたプロフェッショナルとは・・・

### ■ 手作りへのこだわり

ベビーカーステラ誕生には、今年が創立60周年を迎えるにあたり、何か新しいことができないか、出来れば職員の手作りで美味しいものを作りたいという想いがありました。そこで私たちの頭をよぎったのが、お祭りで見かけるベビーカーステラでした。あの甘く香ばしい香りと「カラカラカラッ」と聞こえる独特の音。年齢を問わず、不動の人気を誇るベビーカーステラ。60周年の模擬店コーナーに新たに加わる事が決まったときは、やる気力がみなぎる一方、初めてへの挑戦の不安もありました。

### ■ オリジナルを求めて

翌日から、生地作りの試作を開始。たて焼き機を用いて、分量を変えては計測、攪拌、焼きの繰り返し。栄養士の中には、近くのお祭りへ偵察に行くなど、ベビーカーステラ作りの極意を盗む日々も続きました。試作

を繰り返す中で、一番重要な生地比率を探し出す事に成功しました。「ベーキングパウダー14g」これが、

光道園オリジナルベビーカーステラの生地完成の決め手となりました。総重量50kgの材料を攪拌するために、大きな寸胴を園内の厨房から、業務用ミキサーを業者からレンタルし、カステラ焼き機も大阪から二台手配しました。肝心の焼き手については、アルバイトで焼き手の経験ある職員にも応援を依頼しました。

### ■ 不安から確信へ

カステラ焼き機が届いたのが模擬店の前日。夕方から試し焼きを行いました。焼き機から生地が流れ出したり、出来上がりが真っ黒であったり、とても明日を迎えられない状態でした。焦る気持ちを抑え、試行錯誤しながら、ひたすら試作品を焼き続けました。焼き手の応援職員も加わり、皆が納得してもらえるベビーカーステラが焼き上がりました。焼き上げられたときの感動は今でも忘れられません。これで、明日は大丈夫

だと不安が確信に変わりました。

### ■ 嬉しさと申し訳なき

開店から長蛇の列。焼いている職員に声を掛けてくださる利用者の方々や、地域の方からの「美味しい!」という声も耳に入ってきました。ですが、ホッと一安心するも、事前で作っておいた二〇〇人分もあつという間に無くなってしまい、焼いても焼いても追いつかないという予想外の展開が待っていました。途絶える事のない列を見ながら、ただただ謝罪するばかり。多くの課題を残す結果となりました。

今回の模擬店でのベビーカーステラを通じ、職員同士で悩みに悩んだあの時間、一つのものを作り上げるといふ情熱と根気。この気持ちには、普段の業務の中でも当たり前で、すぐく大切なことを改めて感じる事ができました。機会があれば、リベンジしたい、私自身に残る熱い創立60周年を迎えさせていたかったです。

文：総務一課 山下 悠

秋は気候も良く、絶好のお出かけ日和がたくさん♪  
 光道園の皆様も「紅葉の秋」「食欲の秋」「菊人形の秋」とそれぞれ思いおもいの秋を過ごされました。  
 皆様の秋の素敵な行楽写真コレクションをどうぞ♪



早く秋刀魚焼いてよ！  
 うちわでパタパタ・  
 ライトレーニングセンター きらら館



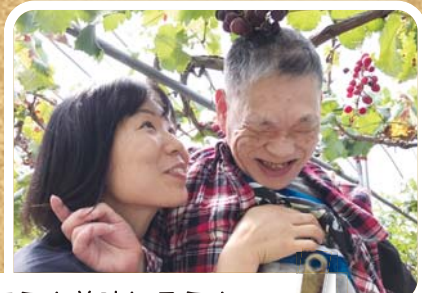
かぶの葉をすぐってます。  
 晩御飯はお浸しかなあ  
 第三光が丘ハウス



上手に剥かんと  
 痛いで、火箸を使うわ！  
 第三光が丘ハウス



ほむほむ  
 ライトレーニングセンター さくら館



ほら！美味しそう！  
 ライトレーニングセンター さくら館



和歌山旅行でみかん狩り、  
 楽しかったよ！  
 ライトホープセンター あさぎ館



うんまいねえ  
 ライトレーニングセンター  
 さくら館



どれが大きいかなあ～  
 ライトレーニングセンター  
 きらら館



福井県産のブドウのお味は・・  
 ライトレーニングセンター きらら館



やっぱり秋の秋刀魚は美味しい！  
 ライトレーニングセンター きらら館



秋のウォーキング  
 大谷公園（実のなる公園にて）  
 拾った柿は青かった！！  
 ライトホープセンター もえぎ館



秋の味覚  
 梨狩りに行きました！  
 光が丘ワークセンター



屋台ラーメンあつあつ  
 ライトレーニングセンター さくら館

# 季節のフォトギャラリー

## ～ Autumn Collection ～



～満開の花に  
魅了されて～  
ライトワークセンター



紙すき。どんな  
もようになろうかな？  
ライトホープセンター もえぎ館



秋風が吹いて  
気持ちいいねえ～。  
ライトホープセンター もえぎ館



紅葉の中  
気持ちいいね～  
ライトホープセンター もえぎ館



菊のお酒が飲みたいな。  
ライトホープセンター あさぎ館



「きくりん」と  
一緒にすまし顔。  
第一・第二光が丘ハウス



菊人形の五重塔の前で  
ライトトレーニングセンター きらら館



これ見て～！  
綺麗な菊やろ～。ええやろ～。  
第一光が丘ハウス



お父さん、  
来年も楽しみやの。  
第二光が丘ハウス



素敵な笑顔で、  
菊満開！！  
第二光が丘ハウス



「きくりん」の笑顔と  
同じ笑顔で。  
ライトホープセンター もえぎ館



初めての菊人形  
ライトトレーニングセンター  
さくら館



菊の海？  
バックに、はいピース  
第一・第二光が丘ハウス



# たねのいえで初めての ハロウィン・パレード!



「トリック・オア・トリート!」

十月三十一日にたねのいえ全員で仮装をしてハロウィン・パレードを行いました。きっかけは、ある利用者の方が、毎回たねのいえに来られる際に、桜やこいのぼりなど四季をイメージしたカワイイ髪飾りを付けて来られ、職員はいつも「今日はどんな髪飾りをつけてくるのかな」と楽しみにしていました。ハロウィンが近づくにつれて、髪飾りや衣類もハロウィン仕様にして来られ、利用者の方はもちろん、職員もハロウィンの雰囲気を感じていました。そんな中、利用者の方も職員もみんなで色んな仮装をして、ハロウィンの日にパレードのようにして歩くと楽しそう!!という意見が上がり、みんなでハロウィン・パレードをする事になりました。それからは、利用者の方と、どんな衣装を着ようか考えたり、衣装の準備を行ったりと、ハロウィンに向けて気分も盛り上がっていきました。

いざ当日!!利用者の方は色々な帽子やカチューシャを付け、職員もメ

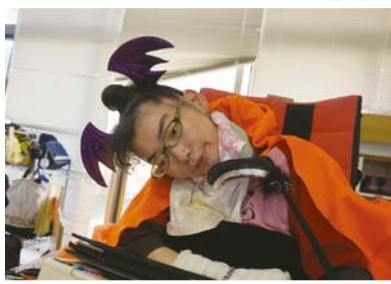


イド服やミニオン、ドラキュラといった衣装を身にまとい、たねのいえがハロウィンムード一色になりました。いよいよパレードスタート!たねのいえの利用者の方と、職員がそれぞれ仮装をして列を組み、正面玄関ときらら館を歩いて周りました。当日は、普段聞きなれない言葉と音楽が鳴り響き、これまでにない賑わいが広がっていました。それはまさにハロウィン・パレード!利用者の方から「トリック・オア・トリート!」と言われた職員は、「イタズラをされたらかなわんわ」とお菓子を配ってくれました。また、「かわいいね」「いい仮装だね」と、たくさん職員が寄ってくるなど、とても楽しいハロウィン・パレードになりました。

今回のように、職員と利用者の方全員で列を組み、歩く事は初めてでした。

今後、この様なパレードがたねのいえの恒例行事になると、来年のハロウィンがまた楽しみになりますね。

文・写真：療護一課たねのいえ 内倉 優大







# 絶賛放送中♪ 光道園CMの裏側、全部見せちゃいます!!

皆様、福井テレビで毎週火曜日の夕方に光道園のCMが流れているのは御存知でしょうか？

今年の七月から放送されている光道園のCMは今まで四パターン作成されています。CMには利用者の方、職員が多数出演していますが、実は裏でも職員がCM作りにかかわっているのです!!今回は、「光道園のCMが出来上がるまで」についての裏話をご紹介しますと頂きたいと思います。

光道園のCMを製作する事が決まり、「光道園CM製作委員会」が発足しました。最初に委員会で集まったときには「どんなことをするんだろう」「CM作りなんて初めてだから緊張する」という不安な気持ちが一杯でCM作りが想像ができない委員会の方々…まずは「光道園らしいCM」というテーマを決めて、みんな色々な意見を出し合いました。すると様々な意見が飛び交いました。その中で多く出たのが「この仕事(福祉)が好きという気持ちをCMを通して伝えたい」「利用者の方への『ありがとう』という気持ちが伝わるようなCMにしたい」という意見でした。

「この仕事が好き」「ありがとう」という二つのコンセプトの下、福井テレビのCM製作部の方と話し合いを行いました。出演していただく方の選りもみんな考え、利用者の方にも出演をお願いすると、CM撮影当日には髪を染め、素敵なお洋服に身を包み、女優さながらに撮影に挑む利用者の方の素敵な姿が見られました。

また、撮影に緊張する職員に対して、場を和ませ雰囲気作りをするプロの仕事ぶりや、十五秒のCMを製作するのに一日がかりでの撮影を行なう事など、普段仕事をしていては経験する事の出来なかった事をたくさん経験できました。

ただCMに光道園の利用者の方や職員が出演しただけのCMではなく、製作の段階から職員がかかわり、作

り上げたCMは間違いなく「光道園らしいCM」になっていると思います。

さて、皆様…CM製作の裏話を聞いている、光道園のCMが見たくなってきたのではないのでしょうか？

光道園のCMは、毎週火曜日(18時36分頃)に福井テレビにて「この仕事が好きだ篇」と「ありがとう篇」が交互に流れています。放送に関しては一日一回ですので、是非お見逃しなくお願いします!!

なお、今後はパソコンでもご覧いただけるようにWebにも載せる予定ですのでお楽しみにしてください。それでは皆様!!毎週火曜日の夕方はテレビの前に座ってCMを見ましょう!!

福井テレビ  
毎週火曜日  
(18時36分頃)

文：企画調整室 森下 幹也



# 未知から既知へ

福祉機器の可能性に触れる

ここ数年、介護の現場では、「介護ロボット」に注目した新しい動きが見られます。介護ロボットとは、ドローンのようなお世話型ではなく、介護者の負担軽減や人的不足を補うサポート的なロボットであり、介護現場における支援者の負担緩和に注目し、様々な開発が進められています。技術開発は、視覚障害のある方への支援についても同様に、映像等をタブレットやスマートフォンなどの携帯端末を使って、音声ガイドしてくれるアプリケーションが開発されるなど、新たな技術開発が進んでいます。このような流れもあり、光道園においても、職員や利用者の方に機器に触れ、その技術を知ること、日々の支援のヒントにならないかと思ひ、今回の機器展の開催に至りました。

福祉機器展の開催にあたり、内容は、光道園らしさとして、障がい支援（視覚障がい）と高齢者支援における最新の福祉機器を知ることがコンセプトとしました。この企画に賛同を得た、県内外の機器業者に参加してもらいました。機器展のタイトルは、「介護ロボット、介護・視覚支援機器展」最新の福祉機器の可能性に触れる」と題し、介護支援機器では、ロボットスーツHALをはじめ、移動入浴車や最新型の車椅子の紹介、視覚支援については、プレクストーク（視覚障害者用デジタル録音図書、読書関連機器）や遮光眼鏡、タックタッチ（触察の感覚による時計）の紹介などを行いました。視覚支援機器については、利用者の皆さんにも、実際に触れて、体験してもらい、機器の利便さを知る機会を得る事が出来たかと思ひます。

タイトルの「未知から既知の状態へ」は、視覚障がいのある方への歩行訓練等にて、ファミリーアリエーションという言葉の定義です。ファミリーアリエーションにて重要な事は、「一度にすべてを既知の状態にするのではなく、少しずつルートを延ばしながら、説明を加え、理解をしてもらいながら既知の状態を増やしていきます。今回の福祉機器展についても、まだファミリーアリエーションという導入の段階だと思っています。本来ならゆっくりと歩みを進めていきたくとも思いますが、目的地である「福祉の現場における支援機器の開発と導入」は常に前へと進んで行っています。大切な事は、歩もうとする気持ち、知ろうとする気持ちであると思ひます。その気持ちこそが、目の前にいる利用者の皆さんへのより良い支援につながるはずです。今回の機器展の開催は、その歩みの一歩目であり、二歩、三歩と歩みを進めていく中でどう展開していくかが、今後の課題であると感じています。

一九七〇年、大阪万博博覧会のロボット館では、「ロボットの未来」というテーマで近い将来に実用普及の段階に入るといふロボットの未来像が展示されていきました。そして、現在、未来像は、現在の世界で既に私たちの生活の中で、無くてはならない身近なものとなりました。

光道園は、来年、六十一年目のスタートを切ります。これまでを大切にしながらも、介護ロボットや最新支援機器の導入なども含め、支援の方法や新たなサービス展開も見据えた職員一同の「知る」意識の向上がより必要になっていきます。今回の支援機器展の開催が、光道園全体の「未知から既知へ」という機運に溢れるよう、今後も努力していきたいと思ひます。

文：企画調整室 青山直人



# いざ全国大会へ!

～ 光道園野球部ベネセーレ～

こんにちは。私達は光道園野球部ベネセーレ（イタリア語で福祉という意味）です。

私達ベネセーレは、結成から十六年が経ちました。

全国大会に向け、若者の汗、おじさんの汗がグラウンドに混ざり、加齢臭を出しながら白球を追い駆け、真剣に練習に励んできました。初心者もいれば、高校、大学まで野球をやっていた職員がいます。光道園ベネセーレは、このように野球経験はそれぞれですが、全員が一つになり、一つの白球を追い駆け汗を流してきたチームです。

そして遂に今年、結成初の全国大会の切符を勝ち取ることができました。その間、選手も入れ替わりの日々が続き、人数が集まらずなかなか練習することが出来ず、活動という活動が出来ていませんでした。そんな中で全国大会出場は選手全員が感極まるものでした。

全国大会出場決定後、大会に向けての練習が始まったのですが、相変

わらず人数が集まらず、練習の日数としては物足りないものでした。これ目標の初戦突破が出来るのか不安を抱えながらの全国大会が始まりました。

大会当日、開会式では、右も左もわからず、全員が、挙動不審になりながらの参加でした。そんな緊張もありながらも、初の全国大会、とにかく楽しく野球がしたいという気持ちで挑みました。



迎えた初戦。わが野球部伝統の「エラー」も少なく、打線も繋がりに、なんとコールドゲームで初戦突破することが出来ました。残念ながら二回戦で敗退となりましたが、選手達はエラーをしても声を出し、脚がつつも立ち上がり、相手に向かって行

きました。初の全国大会でしたが、胸を張れる試合内容だったと思います。



最後に、快く選手達を送って下さった職員、寄せ書き等を書いて応援して下さいました。そして、残念ながら全国大会に参加出来なかった選手、本当に応援ありがとうございました。今後も選手一同は頑張っていきますので、応援宜しくお願い致します。



文：高齡福祉二課 赤星 恵吾



絶賛発売中です！

開運干支 「夢戌 (いぬ)」 完成!!

のぞみ工房 陶華星



いつも光道園ライトワークセンター「陶華星」を御ひいきに  
して下さり、誠にありがとうございます。皆様お待たせいたし  
ました！毎年おなじみの陶華星の開運干支「夢戌 (いぬ)」が  
完成しました。古来より「戌」は、安全、保護、防御、忠誠、献  
身を象徴すると言われており、社会性に優れ、人とのかわわり  
が深い動物です。また、戌は一度にたくさんの赤ちゃんを産む  
ことから、安産祈願をする「戌の日」という日が毎月あること  
でも知られています。今回の「夢戌」は、土佐犬や秋田犬を彷彿  
とさせる迫力あるものから、柴犬の子供をモチーフにしたキャ

ラクター調のかわいらしいもの、戌の文字が書かれた銘々皿など全部で5種類を取り揃えております。  
現在、陶華星では干支製作の最盛期を迎えており、陶華星の利用者一丸となって製作に励んでおります。新年のスタートに是非、陶華星の「夢戌 (いぬ)」をお買い求め下さい。

のぞみ工房 陶華星 〒916-8585 鯖江市和田町9-1-1 光道園ライトワークセンター内「陶華星」  
TEL (0778) 62-8103 FAX (0778) 62-3775



寒いこの季節にはあま〜いお菓子を!!

手づくり工房 フ・クレール

しっとり焼き上げた『チョコブラウニー』 さくさく生地をマイルドにコーティング『チョコラスク』  
やさしい甘さがお口の中に広がります。

その他にもたくさんのパンと焼き菓子をご用意しております。  
お値段に応じて贈答品もご用意できます。お歳暮にぜひご利用ください。

冬のおすすめは  
チョコレートです。

さくさく生地をマイルドにコーティング  
チョコラスク 各 300円

しっとり焼き上げました  
チョコブラウニー (大) 230円・(小) 180円



手づくり工房 フ・クレール 〒916-0146 丹生郡越前町朝日1丁目504番地  
TEL (0778) 34-8801 FAX (0778) 34-8831

社会福祉法人 光道園

社会福祉法人 光道園 法人本部  
鯖江市和田町9-1-1

障害者支援施設 ライトワークセンター  
鯖江市和田町9-1-1

障害者支援施設 光が丘ワークセンター  
丹生郡越前町朝日22-2-2

障害者支援施設 ライトホープセンター  
丹生郡越前町朝日22-3-1

障害者支援施設 ライトレーニングセンター  
鯖江市和田町9-1-1

日中生活介護事業 たねのいえ  
鯖江市和田町9-1-1

障害者支援センター こうどうえん  
鯖江市和田町9-1-1

養護老人ホーム 第一光が丘ハウス  
丹生郡越前町朝日22-7-1

養護(盲)老人ホーム 第二光が丘ハウス  
丹生郡越前町朝日22-7-1

特別養護老人ホーム 第三光が丘ハウス  
丹生郡越前町朝日22-7-1

通所介護事業所 デイサービスセンターさざんかホール  
丹生郡越前町朝日22-7-1

訪問介護事業所 ヘルパーステーションさざんか  
丹生郡越前町朝日22-7-1

居宅介護支援事業所 さざんかホール  
在宅介護支援センター さざんかホール  
丹生郡越前町朝日22-7-1

越前町障害者支援センター さざんか  
丹生郡越前町朝日22-7-1

共同生活援助事業所 とらいと  
丹生郡越前町朝日1-505

就労支援事業所 フ・クレール  
丹生郡越前町朝日1-504

<https://www.kodoen.or.jp/>

光道園

検索